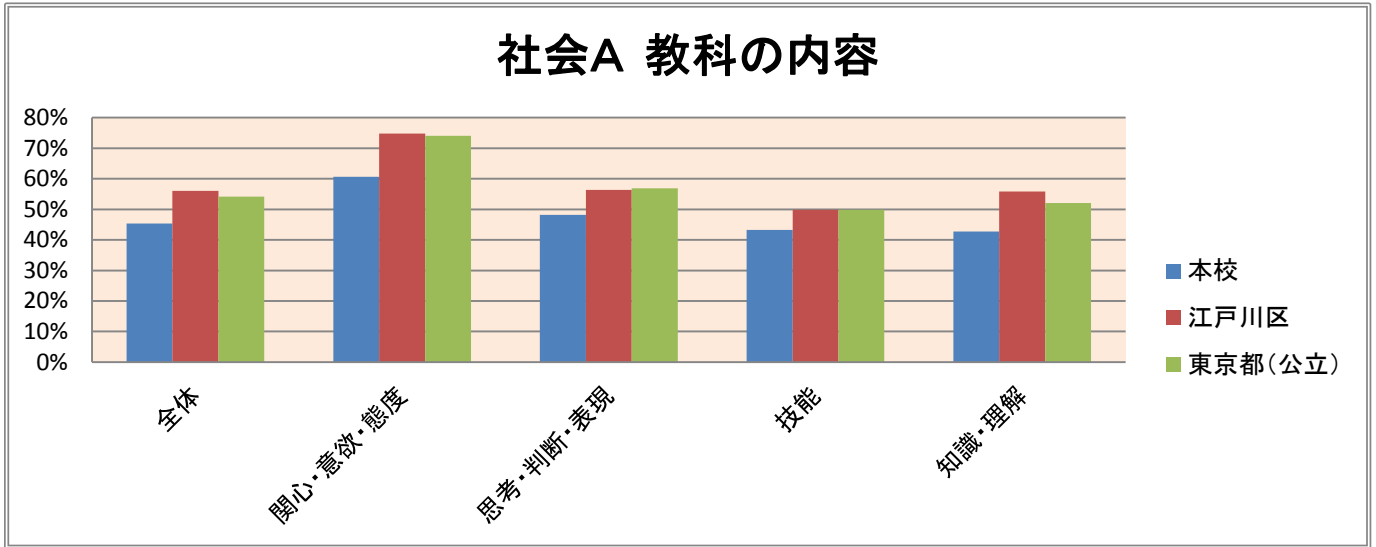


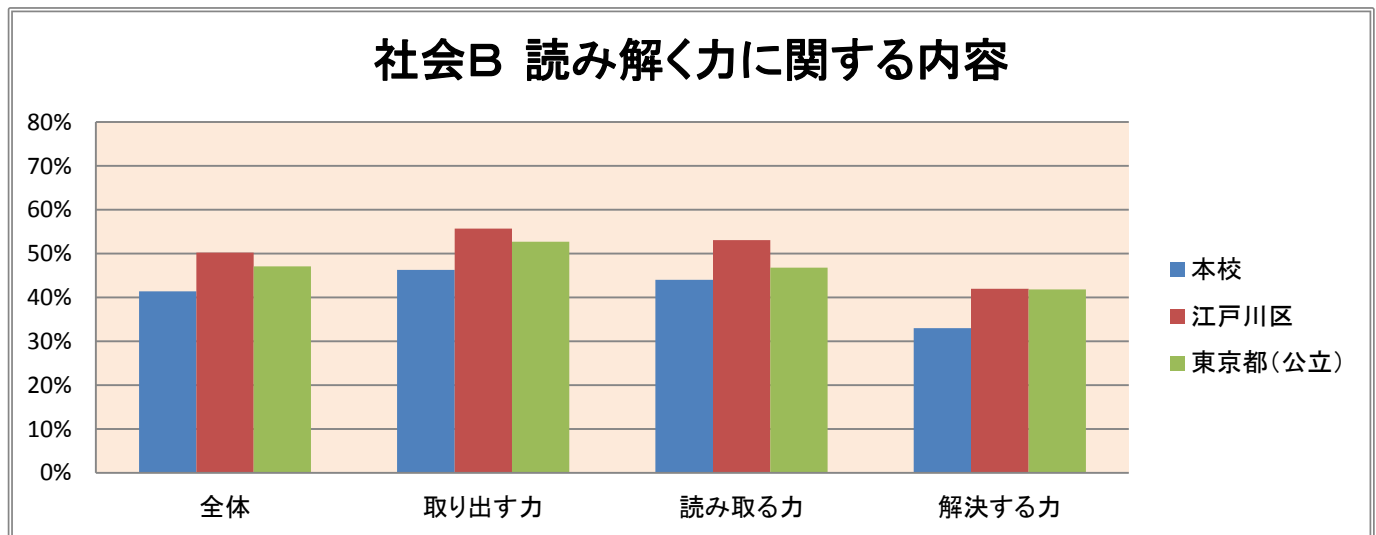
1. 分類ごとの平均正答率

(1)社会A:教科の内容



・全項目において、5ポイント以上下回っている。  
 ・歴史の流れや地域の特徴などを理解し、なぜそうなる(なった)のかを考えさせていく。

(2)社会B:読み解く力に関する内容



・全項目で、東京都の平均よりも下回っている。  
 ICTを活用して新聞や資料を読みながら、アクティブラーニングを意識した授業を行っている。  
 よりよい社会にするためにはどのような課題があるのかを考える姿勢を育てる。

2. 今後の生活に活かすポイント (正答率が低かった問題)

- 4 日本の7つの地域区分を地図帳などにより正しく理解する。 正答率:40.4%
- 5 日本の7つの地域区分を都道府県の名称及び位置と関連付けて正しく理解すること。 正答率:45.0%
- 6 日本の都道府県庁所在地の名称及び位置と関連付けて正しく理解すること。 正答率:36.7%
- 7 緯度を用いて我が国の国土の位置を正しく理解すること。 正答率:33.0%
- 9 グラフから気温や降水量の変化や違いを正しく読み取ること。 正答率:25.7%
- 10 時差の計算をすることを通して、我が国と世界各地との位置関係を正しく理解すること。 正答率:36.7%
- 11 地図帳を用いて、南アジアの地形の特徴について正しく理解すること。 正答率:22.0%
- 13 具体的な農業について、栽培などが行われている場所と気温や降水量を2つの資料で確認すること。 正答率:41.3%
- 17 世界の古代文明について正しく理解すること。 正答率:30.3%
- 18 古代までの日本を外国との関係と関連付けて理解すること。 正答率:45.0%
- 19 律令国家について資料と関連付けて正しく理解すること。 正答率:30.3%
- 20 複数の資料を用いて、古代の日本の文化と大陸との関係を正しく理解すること。 正答率:49.5%
- 21 東アジアとのかかわりについて、年表と関連付けて正しく理解すること。 正答率:31.2%

- |  |             |
|--|-------------|
| 22 古代から中世にかけての文化の特徴を資料と関連付けて正しく理解すること。                                       | 正答率: 39. 4% |
| 23 中世の歴史的事象を正しく理解し、中世の日本の特色をまとめること。  | 正答率: 48. 6% |
| 23 鎌倉幕府の成立について、その歴史的背景と地理的条件を考えること。  | 正答率: 27. 8% |
| 25 分布図から、鉄道、炭鉱、製鉄所、IC向上の立地及び輸入先を読み取ること。                                      | 正答率: 49. 5% |
| 26 2つの地図を、鉄道、炭鉱、製鉄所、IC向上の立地及び輸入先に着目して読み取ること。                                 | 正答率: 49. 5% |
| 27 北九州工業地帯の全国に占める鉄鋼業出荷額の割合の変化の様子とその理由を、鉄道、炭鉱、製鉄所、IC向上の立地及び輸入先の変化を結び付けて考えること。 | 正答率: 41. 3% |
| 28 江戸時代における江戸周辺の醤油及びその原料の産地から、情報を正確に取り出すこと。                                  | 正答率: 43. 1% |
| 29 江戸時代における江戸と江戸周辺の交通路、醤油づくりに関する主なできごと、江戸周辺の市場と河川交通を結び付けて考えること。              | 正答率: 41. 3% |
| 30 江戸周辺において醤油づくりが行われ、発展した理由を、原料の産地と河川交通とを関連付けて考えること。                         | 正答率: 24. 8% |

正答率が50%に満たないものを挙げた。